

二次汚染発生!!

放射能汚染された廃棄物を受け入れたら こうなる？

私たちのまちのゴミ処理施設は、家庭などから出る普通のゴミを処理するための施設で、放射能汚染された廃棄物の処理を想定して造られてはいません。東北・関東の施設では、汚染されたものを処理したためにトラブルが発生しています。その事例を集めてみました。

一般廃棄物処理施設で燃やしたらこうなる？

【千葉県柏市】

国の埋め立て可能基準（1キロ当たり8000ベクレル）以上の高濃度汚染焼却灰を出している同市南部クリーンセンターの運転が当面休止に。**放射能汚染で清掃工場が休止になる前代未聞の事態となった。**埋め立て処分できずセンター内で保管が続く灰は143トンで保管スペースは残り30日分しかない。

■情報元：「毎日新聞“清掃工場：焼却灰汚染濃度高すぎ…炉休止 千葉・柏市”」（10/1）

【群馬県前橋市】

前橋市の下水処理施設では、**汚泥を溶融する施設は内部の放射線量が高くなり、周辺が「放射線管理区域」に指定され、稼働を停止**しています。

■情報元：「NHK ニュース“汚泥の溶融施設 放射線量高く”」（8/16）

【東京都江東区】

汚泥処理施設「東部スラッジプラント」で、下水を通じて集められた放射能が処理工程を通じて**再度大気環境中に放出され、卓越風により二次汚染を引き起こしている**可能性が指摘された。こちらの汚泥焼却施設には環境省が99.9%セシウムを補足できるとしているバグフィルターが付いている。

■神戸大学大学院海事科学研究科（放射線物理、放射線計測）教授山内知也氏の調査による指摘

【東京都大田区】

汚泥処理施設「南部スラッジプラント」を視察した東京都議会議員の柳ヶ瀬氏が、**汚染された「混練灰」が施設外に飛散している可能性を指摘。**混練灰とは、粉末状の焼却灰にセメントを混ぜたもの。細かな粒子状で、当然はたけば飛ぶ。これが保管されている建物の外で散見され、運搬用のトラックにも付いていた。

■情報元：「[ECO JAPAN リポート]どうなる放射能汚染物の処理【3】南部スラッジプラントでも飛散の可能」（7/22）

【秋田能代市】

岩手県産の木材チップを発電燃料にしていた能代バイオマス発電所で、**焼却灰から1キロ当たり最大3300ベクレルの放射性セシウムが検出された。**

■情報元：「さきがけ on The Web“焼却灰からセシウム、能代のバイオ発電所 岩手産チップ使用”」（9/14）



最終処分場に埋めたらこうなる？

【群馬県伊勢崎市】

一般廃棄物処分場の排水から、モニタリングの目安としている濃度を超過する放射性セシウムが検出され、排水が一時停止。環境省は「**埋め立てられた焼却灰により排水に放射性セシウムが溶出した可能性が高い**」としている。

■情報元：「一般廃棄物最終処分場における排水中の放射性物質の測定結果について」「廃棄物最終処分場における焼却灰などの埋立処分について（注意喚起）」

【千葉県柏市】

最終処分場の排水から1リットル当たり最高31ベクレルの放射性セシウムを検出。市は検出直後から、**関東地方の水源地である利根川への放流を停止**している。（原因については調査中。高濃度に汚染された焼却灰からセシウムが溶け出した可能性もある）

■情報元：「毎日新聞 地方版“東日本大震災：最終処分場からセシウム 柏市、利根川へ放流停止 千葉”」（10/4）

無言は受入れ賛成の意思表示。少しでも不安に思ったらその思いを自治体に伝えよう！